

報道関係各位

「有楽町アートアーバニズムプログラム」実行委員会
(一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会)

有楽町アートアーバニズムプログラム「YAU (ヤウ)」
100名を超えるアーティストが有楽町にいる8日間
アートイベント「YAU TEN」を開催
2022年5月20日(金)～27日(金)

「有楽町アートアーバニズムプログラム」実行委員会は、2022年5月20日(金)から27日(金)まで、有楽町アートアーバニズム「YAU (ヤウ)」のプログラム経過を発表・公開するアートイベント「YAU TEN」を開催します。

本イベントでは、「なぜあなたは有楽町に来るのですか?」をキャッチコピーに、YAU STUDIOがある有楽町ビル内に留まらず有楽町各所に作品を展示する「EXHIBITION」、ジャンルを横断したさまざまなバックグラウンドや専門性をもったゲストによるトークセッションを実施する「TALK SESSION」、大手町・丸の内・有楽町で働く人々によるパフォーマンス作品などを上演する「PERFORMANCE」、若手アーティストが直面するさまざまな困りごとについて相談できる「SOUDAN」の4つのプログラムを通じて「有楽町のいま」を体感いただけます。

日本有数のビジネス街として知られ、ほかにもショッピングやレジャー、文化芸術鑑賞など、さまざまな場面で人が訪れる有楽町。その中心地に立つ有楽町ビル10階に構えたアーティストによる創作の場 YAU STUDIO に、さまざまな表現領域で活動するアーティストが通い、有楽町を新たなレンズで眺めて歩き、この街で働く人と対話の場を設けてきました。YAU というプログラムのもと、それぞれのアーティストが何をみて考え、何を表現しようとしたか、スタジオ内外で見られる制作やそのプロセスから、来訪者それぞれが、アート表現を通じて「有楽町」という街の存在を再考するきっかけとなることを企図します。

YAU (YURAKUCHO ART URBANISM) とは?

一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会では、都市空間創造や都市活動展開を一体化させる新しい街のムーブメントを、「アート」+「アーバニズム」を掛け合わせた造語「アートアーバニズム」として始動することを提言し、既成の枠を超えるクリエイティブな感性を秘めたアーティストたちが、ビジネス街という場と出会うことから生まれる新たな潮流を、大丸有エリアで実現するコンセプトとして策定しました。「YAU」はその実証パイロットプログラムであり、大丸有エリアの立地企業などによるアーティストの持続的な支援を通して、大丸有エリアにおけるイノベーションを誘発する仕組みの構築を目的として、2022年2月1日にスタートしました。

「YAU」始動時プレスリリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec220126_arturbanism.pdf

「YAU」ホームページ：<https://arturbanism.jp/>

「YAU」Instagram：<https://www.instagram.com/arturbanism/>



▲YAU TEN ポスター

開催概要

【名称】 YAU TEN

【開催期間】 2022年5月20日(金)～5月27日(金)

【開催場所】 YAU STUDIO (千代田区有楽町 1-10-1 有楽町ビル 10階)をはじめ有楽町各所

【プログラム】 <https://arturbanism.peatix.com/>

【主催】 「有楽町アートアーバニズムプログラム」実行委員会

(一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会)

【企画協力】 YAU プロジェクトチーム

プロデューサー | 深井厚志

ディレクター | 森純平

プロジェクトマネージャー | 東海林慎太郎

コーディネーター | 金森千紘
PR・アーカイブ | 榊原充大 (株式会社都市機能計画室)、下里杏奈
ビジュアルデザイン | 原田光
グラフィック/ウェブデザイン | 加藤賢策 (LABORATORIES)

株式会社フロントヤード
インストール | Houxo Que (Artifact)

- 【助 成】 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
【特別協賛】 三菱地所株式会社
【協 賛】 エプソン販売株式会社、エコファニ、Polaroid、荒川技研工業株式会社
【協 力】 株式会社アトム (A-TOM Co., LTD.)、東京工芸大学芸術学部写真学科 川島研究室 (フォトメディア)、一般社団法人 PAIR

① ビル内外での展示「EXHIBITION」: 5月20日~27日

YAU が始動した本年2月より、YAU STUDIOにてスタジオプログラム『INSIGHT/ONSITE: Studio TPR』を実施してきた TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH (TPR)*1が、今回の YAU TEN では、スタジオにとどまらず、有楽町の街なかにも舞台に作品を発表します。YAU STUDIO では立体や音と映像の作品、3D アーカイブデータなど写真の枠から拡張した表現形態の作品を公開。仲通りを中心に街路やビル共有部、空き店舗空間では、複数のアーティストによる場と呼応した作品群を発表します。また、新有楽町ビル1階で展開中のアートプロジェクト「ソノ アイダ#新有楽町」*2 (千代田区有楽町 1-12-1) では、藤崎了一、Hogalee が滞在制作を行います。アート表現の場として魅力的な、街なかに点在するデッドスペースの発掘・攻略にも挑戦し、都市とアーティストの実践を有楽町で行います。

■会場 YAU STUDIO (千代田区有楽町 1-10-1 有楽町ビル 10階)、有楽町各所

■参加アーティスト

TPR/ARCHI HATCH、石毛健太、梅沢英樹+佐藤浩一、小山泰介、志賀耕太、GC Magazine、SO×丸尾隆一、築山礁太、三野新、村田哲、山本華、東京工芸大学芸術学部写真学科 川島研究室
ソノ アイダ/藤崎了一、Hogalee (2022年5月10日~6月26日)

② トークシリーズ「TALK SESSION」: 5月20日~21日

YAU の期間中に有楽町を拠点に活動したアーティスト、建築家、デザイナー、編集者に加え、全国でアート・文化・まちづくりに関わる、さまざまなバックグラウンドや専門性をもったゲストによるジャンルを横断したトークセッションを実施。YAU をきっかけにアーティストも企業も共にまちづくりに関わり、さまざまな人が交わる場を創出します。

■会場 YAU STUDIO (千代田区有楽町 1-10-1 有楽町ビル 10階)

■参加スピーカー

決定次第、下記リンク先にて公開します。

<https://note.com/arturbanism/n/neab7c33af072>

③ 上演「PERFORMANCE」: 5月21・22・26・27日

YAU にて演劇・ダンス等の稽古場およびアートマネージャーのコ・ワーキングスペースの開設・運営、新作パフォーマンスのプロデュースに取り組んできたパフォーマンス・アーツを中心とするアートマネージャーのコレクティブ「bench」*3が、今回の YAU TEN ではその成果として、演出家・振付家・ダンサーの倉田翠*4と大手町・丸の内・有楽町で働く人たちによるパフォーマンス作品『今ここから、あなたのことが見える/見えない』を上演します。オフィスビルの一角で上演される本作は、このエリアで働く一人ひとりの「生」のリアリティを掴み直し、街に新たな視点をもたらすことでしょう。その他、稽古場を利用したアーティストの中から、チーム・チープロ*5、シラカン*6の2団体・2作品の上演等を実施します。

■参加アーティスト

倉田翠、チーム・チープロ、シラカン、神里雄大 ほか

■パフォーマンス一覧

『大手町・丸の内・有楽町で働く人たちとパフォーマンス? ダンス? 演劇? をつくるためのワークショップ』成果発表公演

倉田 翠 演出・構成『今ここから、あなたのことが見える/見えない』

日時: 2022年5月22日(日) 14:00開演/17:00開演(上演時間:約70分予定)

会場: 新国際ビル2階(千代田区丸の内3-4-1)

料金: 一般1,000円(税込)、18歳以下無料(※要予約/公演当日要証明)

チケット：Peatixにて受付 (<https://yauten-kurata.peatix.com/>)

※5月9日(月)13時~チケット発売開始

出演：ワークショップ参加者12名、倉田翠

チーム・チープロ『皇居ランニングマン』 振付・構成：チーム・チープロ (松本奈々子、西本健吾)

日時：2022年5月21日(土)、22日(日)13:00開演/16:00開演(上演時間:約30分)

会場：YAU STUDIO内Y-base1(千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル10階)

料金：500円(税込)

チケット：Peatixにて受付 (<https://yauten-teamchiipro.peatix.com/>)

※5月9日(月)13時~チケット発売開始

出演：松本奈々子

シラカン『くじら』 作・演出：西岳

日時：2022年5月26日(木)、27日(金)12:30開演/18:00開演(上演時間:約40分)

会場：YAU STUDIO内Y-base1(千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル10階)

料金：1,000円(税込)

チケット：Peatixにて受付 (<https://yauten-shirakan.peatix.com/>)

※5月9日(月)13時~チケット発売開始

出演：岩田里都、櫻井碧夏、干川耕平、村上さくら

④ アートに関する相談所「SOUDAN」

若手アーティストが直面するさまざまな困りごとについて考える相談員のネットワーク SNZ (シノバス) *7 による「SOUDAN」では、引き続きさまざまな専門家をお呼びして、相談所を継続開設しています。YAU がスタートして以降「専門家の話をきく」「専門家に話を聞いてもらう」というだけでなく、来場者同士でも会話が生まれたり、技術の共有がおこなわれたり、あるいは専門家が逆に相談する側になったりとさまざまで、それらがひとつの空間の中で同時に起きていることもこの場の魅力です。

■会場 YAU COUNTER (千代田区丸の内3-1-1 国際ビル地下1階)

■相談員

山川陸 (建築家)

長谷川新 (インディペンデントキュレーター)

森純平 (建築家)

うらあやか (アーティスト)

中島りか (アーティスト)

田村かのこ (アートトランスレーター)

宮路雅行 (展示技術者/アートインストレーター)

西原珉 (インディペンデントキュレーター)

猫のやりかた (青木彬・五藤真・中田一会)

関連イベント

YAU CLASS “YAU WALK” vol.2

日時：5月14日(土)13:00~15:00

場所：YAU STUDIO(千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル10階)、有楽町周辺

参加費：1,000円(micro FOOD&IDEA market ペア利用ドリンクチケット付き)

先導人：藤村龍至、金城敦彦

概要：建築家の藤村龍至氏、大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会の金城敦彦とともに、建築やまちづくりが歩んだ歴史の話を聞きながら有楽町を歩き、新たな視点から有楽町という街を再発見します。

YAU CLASS「都市とアート(なかよくけんかしな)」

日時：5月25日(水)18:00~19:30

場所：YAU STUDIO(千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル10階)

参加費：1,000円(micro FOOD&IDEA market ペア利用ドリンクチケット付き)

スピーカー：成相肇(東京国立近代美術館 主任研究員)

概要：大丸有エリアでの勤務経験が長い美術館学芸員を迎えて、アートと都市の関係について、対話を交えながら深掘りします。

アーティスト

*1 TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH

東京フォトグラフィックリサーチは、2020年代を迎えた東京を舞台に、最先端の写真・映像表現を通じて未だ見ぬ都市と社会と人びとの姿を探求し、見出されたヴィジョンを未来へ受け継ぐことを目的としたアートプロジェクトです。写真家・小山泰介とキュレーター・山峰潤也を発起人として、写真家、現代美術家、建築家、メディアアーティスト、音楽家、デザイナー、編集者など20名を超えるメンバーの有機的な協働によって、アーティストプロジェクトや展覧会、コミッションワークやコラボレーション、都市のリサーチや国内外の芸術大学との共同プロジェクトなど、多様な活動を展開しています。

<https://www.tokyophotographicresearch.jp>

ANEWSSCALE/深井佐和子+内田友紀(都市研究コレクティブ)、ARCHI HATCH/GC Magazine(アーティスト・コレクティブ)/SO(サウンドリサーチャー)、金秋雨(キュレーター)、三野新(写真家・舞台作家)、山本華(写真家)、志賀耕太(美術家)、小山泰介(写真家)、石毛健太(美術家)、川島崇志(写真家)、村上由鶴(写真研究・美術批評)、村田啓(写真家)、築山礁太(写真家)、東京工芸大学芸術学部写真学科川島研究室、梅沢英樹+佐藤浩一(アーティスト)

*2 ソノ アイダ#新有楽町

「ソノ アイダ#新有楽町」は、三菱地所の新有楽町ビル 1 階の空き店舗区画を空間メディアとして活用するアートプロジェクトです。その中の企画「ARTISTSSTUDIO」では、アーティストが自分の制作環境を移設し、約 1 ヶ月半の期間作品を制作しながらアーティストの営みを展示、作品販売も行います。

スタジオプログラムのアーティストは期間ごとに入れ替り、常にアーティストのいる風景を提供します。加えて企画展覧会や現代美術への関わりを実践しながら学ぶ「OUTSCHOOL」や不定期開催予定のワークショップ等も並走しながら、アートに関わる様々な人が集まる新たなアートコミュニティの形を提案します。

<https://sonoaida.jp/shinyurakucho>

*3 bench

演劇やダンス、アートプロジェクトのプロデューサーやコーディネーターに関わる舞台芸術制作者を中心に発足した、アートマネージャーのコレクティブ（代表・武田知也）です。芸術文化分野をはじめ行政、福祉や医療、まちづくりといった多様な国内外の主体と連携し、地域社会と芸術の関係性を更新する事業を開発、展開しています。また、国内外の様々な芸術祭、劇場、劇団・アーティスト等の創造現場を、プロデューサー＆マネジメントの観点から支援、構築し、芸術創造を共に担っています。<https://bench-p.com/>

*4 倉田翠（演出家／振付家／ダンサー）

1987年、三重県出身。京都造形芸術大学卒業。3歳よりクラシックバレエ、モダンバレエを始める。京都を中心に、主に舞台作品を制作。作品ごとに自身や他者と向かい合い、そこに生じる事象を舞台構造を使ってフィクションとして立ち上らせることで「ダンス」の可能性を探求している。2016年より、倉田翠とテクニカルスタッフのみの団体、akakilike（アカキライク）の主宰を務め、アクターとスタッフが対等な立ち位置で作品に関わる事を目指し活動している。セゾン文化財団セゾン・フェロー I。

*5 チーム・チープロ

パフォーマンス・ユニット。現在は、3歳から20歳までバレエを踊り、その後自らの身体のあり方を問い直してきたパフォーマーの松本奈々子、主にドラマトゥルクの役割を担う西本健吾が共同で演出を行う。綿密なリサーチを積み重ね、“身体”を媒介に個人の記憶と集団の記憶を再構築する。主な作品に『20世紀プロジェクト』（都内各所、2017-2018）、『皇居ランニングマン』（ST スポット、ラボ 20#22 参加作品、2019-2020）、『京都イマジナリー・ワルツ』（THEATRE E9 KYOTO、KYOTO EXPERIMENT 2021 AUTUMN 参加作品、2021）。今回は、皇居前広場のリサーチをもとに制作したダンス作品《皇居ランニングマン》を再演する。<https://www.chiipro.net/> twitter : @team_chiipro_

*6 シラカン

2016年に多摩美術大学にて結成。2019年から現在に至るまで横浜を拠点に活動中。団体には劇作・演出家、俳優、舞台監督、グラフィックデザイナーの4名が所属し、それぞれが多角的に作品を支え合い集団創作を行っている。些細で、普段なら見過ごしてしまうような人や物事の偏り・歪み・噛み合わないさといった違和感に注目し、その違和感を独特な見立てや奇抜な美術の中で増幅して現す演劇作品を上演する。今回は、団体にとって代表短編作『くじら』のリ・クリエイションに挑む。

*7 SNZ

SNZ（シノバス）は、若手アーティストが直面するさまざまな困りごとについて考える相談員のネットワークです。制作のことや気になることを内容の大小粗密にかかわらず気軽に相談できる場所をつくるため、森純平、長谷川新、山川陸を中心に2021年より活動。以降、美術大学や展覧会を中心に、各地を訪問しながら、アドバイスをしたりともに考えたりしています。

【ご参考】大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体について

大丸有地区は、公民協調によるサステイナブル・ディベロップメントを通じて、約120haのまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。

大丸有まちづくり協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガーレが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会が社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり協議会 (大丸有まちづくり協議会)
再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、
東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型
まちづくり推進協会 (エコツェリア協会)

サステナビリティ/Research & Development/環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、
大丸有地区に集う企業・事業者のコミュニティ形成や、
次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
(リガーレ)

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、
大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局 共同ピーアール(株)PRアカウント本部 9部 担当：内山・前山・高橋
TEL：070-4303-7327 / 070-4303-7311 FAX：03-6260-6653
E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会へお届けしています。